

(1) 「(仮称)くにみ学園基本構想策定に向けて」および

「今後のスケジュールについて」

質問：「国見の子は一つ」のスローガンの補足説明をお願いしたい。

回答：保育所・幼稚園・小学校の統合により、町内に保・幼・小・中が1ずつになったことを機に、平成26年より「国見学園」と称したコミュニティ・スクールを立ち上げ、また、国見の子どもが中学校を卒業するときに「こんな力をつけてほしい」ということを明確にして、それぞれの保・幼・小・中の段階で「アクティブプラン」を作成し取り組みを進めているところです。

意見：「くにみ学園」について、町外に向けてどんどん発信することで、移住につながり、児童数も増えるのではないか。

回答：現段階では、国見町に今住んでいる子どもたち、これから生まれてくる子どもたちに、きちんと国見町で学ぶことによって、都市部と大差のない学びができる環境を準備することが一番大きいところだと考えています。

質問：「くにみ学園」は義務教育学校になるのか、小中一貫校になるのか？

回答：それぞれの枠組みの違いや、先進的事例を参考にしながら、どのような編成が良いのか、今後検討していきます。

質問：給食センターの自校方式とは、なるべく地元の農家に協力いただきながら、地元の食材を使用して給食を作り、子どもたちに食育を行うということか？

回答：学校敷地内に給食施設をつくることで、温かい給食を提供し、また、地産地消、地元の食材提供についてもさらに進めていきたいと考えています。